

どうぶつこうえんニコース



千葉市動物公園
Chiba Zoological Park

No.65

2007

秋

レッサーパンダの風太とチィチィ夫妻に 今年も双子が誕生しました



7月11日に、レッサーパンダのチィチィが双子の赤ちゃんを出産しました。

昨年チィチィは、初めての出産・子育て、2回の引っ越しと多忙で、交尾も観察できなかったもので、妊娠をあきらめていましたが、5月になると体重が増え始め、前回の出産時の体重に近づいてきたので、妊娠を確信しました。

6月の下旬には監視用のカメラを設置、巣材も入れました。7月9日に餌のササを巣箱に運び、巣箱から出てきませんでした。11日の朝9時25分頃に1頭目が、15時10分頃に2頭目が出産されました。

前回に比べ、2頭の出産間隔が空いて、大きさも違っていたので少し心配しましたが、チィチィの上手な子育てで、最初の方は384g（7月23日）から1,172g（8月27日）、あとから生まれた方は328g（7月23日）から1,097g（8月27日）になりました。2頭とも目も開いて、順調に成長しています。

巣箱の中のカメラを使って子育ての様子が見られるようになっています。ぜひ、ご覧になって下さい。

秋には風太一家6頭がそろって皆さんとお会いできるように、チィチィがんばって！

濱田 昌平 (Masahira Hamada)

目次 CONTENTS

表紙【ナベコウ】	①
トピックス【レッサーパンダ出産】	②
特集 子ども動物園より (10)	③
特集【動物園の環境エンリッチメント 2】	④
特集【サマースクール】	⑤
動物公園の動物【タンチョウ】	⑥
飼育よもやま話【キリン】	⑥
動物公園日誌から【'07.4/1~'07.6/30】	⑦
裏表紙【ブラッザゲノン】	⑧
サポーター会員募集のお知らせ	⑧
Information	⑧

表紙の動物説明 ナベコウ

ナベコウは、コウノトリ類9属17種の中でも比較的小型のコウノトリで、分布は広く、南アフリカからヨーロッパ、中国東北区、朝鮮半島に生息しています。日本には迷鳥として時々、九州、沖縄地方の干拓地や湿地、大きな河川に現れることがあります。分布は広いのですが、個体数は少なく世界的に保護対象種になっています。ここ数年来の野生動物保護政策は、環境省も動物園界も、国内希少動物の生息域内保全に力をいれ始めています。その第一歩を踏み出したのが、ニホンコウノトリ、トキです。逆を言うとそれだけ国産動物が、危機的状况にあるということです。動物園等で保護増殖をすることを、生息域内保全に対して生息域外保全といいます。ナベコウも日本に渡来例がある希少種であり、保護増殖する意義は大きく、今回当園にやってきたペアは、危険分散もかねて多摩動物公園で繁殖した個体を寄贈受けしたものです。

小林 正典 (Masanori Kobayashi)

動物飼育数

平成19年6月末現在の飼育数

Classified number of animals
as of 30.Jun.2007

哺乳類	66種	412点	両生類	1種	2点
鳥類	75種	324点	魚類	1種	2点
爬虫類	8種	32点	総計	151種	772点



子ども動物園より(10)



家畜類の住民台帳が完成しました!



このほど、子ども動物園に在籍している家畜と愛玩動物類の「住民台帳」つまり個体の台帳が完成しました。もちろん、これまでも個体番号ですべて管理されていましたが、今回完成したのは、生年月日や雌雄の別、由来などのほか、イラスト付きで個体ごとの性格まで記したものです。

学校や保育園・幼稚園などの引率の先生用に作成しました。下見のときなど、ご希望の先生方にお渡ししております。あらかじめ、個体名や誕生日がわかっていると、より親しみがわくことと思います。担当者がそれぞれの魅力をお伝えするために描いたイラストは、それを見ているだけでも楽しくなることでしょう。また、一般のお客様には、「飼育センター」という建物の中にある机に置かれたこの台帳をいつでもごらんいただけるようになっています。

飼育担当者は、それぞれの個性をよく知っていて、たとえばヤギであれば、その個体がどんなことが好きなのか、いつもどのへんにいるのか、ほかのヤギと比べて強いのか弱いのか、お客さんのことが好きなのか嫌いなのか、されるといふことは何なのか、本当によく知っています。それを数行にまとめて書くのは至難の業でしたが、書ききれなかった点は、ぜひ直接おたずねください。

また、毎月定期的にテンジクネズミ、カイウサギ、ヤギ、ヒツジは体重測定をしていますので、そのデータも

管理しています。体重に大きな変化があるときは、重大な病気が隠れていることもあり、体重は健康かどうかの目安のひとつとして大事な情報です。この情報も個体台帳があることにより、より正確に管理できます。

それぞれの新しい個性をみつけましたら、ぜひ飼育担当者にも教えてください。

コンタクトコーナー

 ローズ 生年月日 2004.11.18 性格 アラフなまてな、おめいじき。性別♀	 カミール 生年月日 2004.11.18 性格 カイで、ツツク、いす。自分からアタマをのぞかす。性別♀	 ジャスミン 生年月日 2004.11.18 性格 白い毛が白く、ペラペラ。水のカタマリ。性別♀	 シナモン 生年月日 2004.11.18 性格 いつもおてにサレ、ミミズク。性別♀	 グラス 生年月日 2004.11.18 性格 休ムスおはな、おまけせん。性別♀
 ジュス 生年月日 2004.11.18 性格 おねに、アタマをのぞかす。性別♀	 カミ 生年月日 2005.2.28 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 マカロー 生年月日 2005.2.28 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 スズ 生年月日 2005.2.28 性格 ワタシの、アタマをのぞかす。性別♀	 サクラ 生年月日 2005.3.3 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀
 マリー 生年月日 2005.3.7 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 ハナ 生年月日 2005.3.14 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 ニッキ 生年月日 2005.4.28 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 ウエル 生年月日 2005.4.28 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 ボメロ 生年月日 2005.5.2 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀

ヤギとヒツジの広場

 ソルティ 性別♀ 生年月日 不明(7才?) 性格 立ち止まると、アタマをのぞかす。性別♀	 シュガー 性別♀ 生年月日 不明(7才?) 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 ジャイ 性別♀ 生年月日 不明(7才?) 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 シロメ 性別♀ 生年月日 不明(7才?) 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀
 ナッツ 性別♀ 生年月日 不明(7才?) 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 ハイジ 性別♀ 生年月日 不明(7才?) 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 メイ 性別♀ 生年月日 不明(7才?) 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 チーフ 性別♂ 生年月日 2001.8.9 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♂

子ども牧場

 ヤギ 性別♀ 生年月日 1994年4月22日 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 ジュン 性別♀ 生年月日 1998年春 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 ヒメ 性別♀ 生年月日 2000年6月26日 性格 ちやうど、アタマをのぞかす。性別♀	 性別 生年月日 性格
--	---	--	-----------------------------



特集

動物園の環境エンリッチメント

フクロテナガザルの放飼場をよくしたい! ②



前号のあらまし。千葉市動物公園で暮らす2頭のフクロテナガザル、ブレイブ（オス）とハート（メス）。彼らが暮らす放飼場に、ブランコや消防ホースを設置。また本来は、高い場所で生活している彼らのために、今までの2倍近くの止まり木を、2006年の年末に立てました。ブレイブとハートの反応はいかに。

さて、止まり木が立った翌日は、2頭は室内で過ごしました。その間に、担当者は彼らが出てくるための準備をしました。

そして、大晦日の朝がやってきました。ブレイブとハートは、5mの止まり木が待つ放飼場へ！担当者は、ときどきしながら観察します。まず、ハートが先に出てすぐ、止まり木に気付き、近寄っていきます。次に出てきたブレイブもすぐ後に続きます。これまで、ブランコや消防ホースなどを設置したときには、好奇心旺盛なハートはすぐに近付き、さわります。ところが、ブレイブはとても用心深く、たださわるだけでも時間がかかります。例えば、30分以上も、消防ホースの周りをうろうろしていたこともありました。きっと、今回もブレイブはしばらく近寄らないだろう。そう担当者は考えていました。



ところが、2頭ともまっすぐに止まり木に向かい、そのまま戸惑うことなくてっぺんまで上っていきましました。そして、止まり木やロープを使い、活発に動き回ります。しばらくすると、2頭は気持ち

よさそうに（担当者にはそう見えました）歌い始めたのです。いままでは、ぐるぐるとブラキエーション（うんていのような動き）をしながら歌っていた彼ら。ところがこの日、2頭は歌い始めるとすぐに、止まり木のてっぺんに上り、高い場所で歌い続けました。彼らの歌には、縄張りを主張する意味もあります。となると、高いところで歌うことは、遠くまで声を届けるのに役に立つのかもしれませんが。これは、思ってもいなかった行動でした。



そのあとも2時間ほど、行動を観察していましたが、ブレイブとハートは、止まり木をととても気に入ってくれたようで、頻繁に利用していました。いつもなら、放飼場へ出た後は、朝ご飯を食べるとすぐに、日光浴をしながら休んでいることが多い2頭。でもこの日は、止まり木の近くで、色々な行動を見せてくれました。また、止まり木やロープの上で休む姿も観察できました。高い場所で休める場所を作ってあげたい。そう思っていた担当者の思惑通り、いや、それ以上に、彼らは止まり木を活用してくれました。

その後も、園内で伐採した木の枝を鉄棒にくくりつけるなど、動きのできるものを増やしました。木の枝は、餌としても、遊び道具としても、また、休む場所としても活躍しました。この4月から担当が替わり、また違う工夫がされています。

次回は、その新しい工夫と、現在の2頭の様子をお届けします！

加藤 洋子 (Yoko Kato)

サマースクール

開園以来毎年開催しているサマースクールも今年で23回目を迎え、7月25・26・27日の3日間、小学3～6年生の総勢119名に体験してもらいました。

今年は梅雨明けになりそうでなかったため天気が心配でしたが、3日間とも梅雨とは思えない暑い日が続き、参加した子ども達も汗をかきながら獣舎

の掃除や動物のごはん作りに取り組んでいました。

今回初めての試みとして、午後のプログラムを3・4年生は羊人形作り、5・6年生はテンジクネズミのシャンプーと別にしました。それぞれの学年のレベルを考えてのことでしたが、みんな一生懸命取り組んでいました。



基本の部屋掃除



動物のごはん作り



ソウのごはんの草です



袋の中身はなあに？



甲羅の長さ測定 甲羅の長さからゾウガメの体重を推定する公式があるそうです



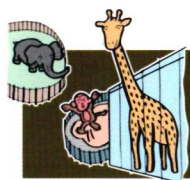
蹄の観察



羊の毛から羊人形を作ります



テンジクネズミのシャンプー



動物公園の動物

タンチョウ

4月にタンチョウの担当者になり、そのときに、卵を2卵抱卵中でしたが5月中旬ごろ卵がなくなっていました。残念に思っていた1週間後に、タンチョウが求愛の鳴き声を鳴きだし、ダンスをし始めました。

その後、5月16日にタンチョウが1卵目を産卵し、その3日後に2卵目も産卵しました。お客さんにタンチョウの抱卵を静かに見守っていただくため、看板をたて今度こそうまくふ化するよう願っていました。

すると6月18日の月曜日に1卵がふ化しました。ふ化したばかりの雛は、黄土色でとても小さく、親が動くと小さな体で一生懸命後をついていきます。体が小さいので展示場の土と草の間にうもれてしまい、姿が見えなくなることもありました。2日目から、わかさを与えるため、展示場の池のほとりにわかさを投げてみると、親がわかさをくわえて、池の水で洗って雛に与えていました。

もう1卵の卵は1週間過ぎてもふ化しないため、取り上げてみると発生がとまっていて、残念なことに失敗していました。今後、ふ化した1羽を大切に育てていきたいと思っています。いまでは雛も大きく育ち、親の首の付け根位の大きさになっています。

鈴木 克典 (Katsunori Suzuki)



飼育よもやま話

キリン

キリンの名の由来は、中国で聖人の出る前に現れる、体形は鹿に、尾はウシに、脚はウマに似ていて、頭上に皮膚に包まれた一本の角がある想像上の動物「麒麟」からついたと言われています。

当動物公園では、母と娘の2頭のキリンを飼育しています。母親は、安心院（アジム）と言って、年齢は推定22歳です。キリンの寿命が約25歳位とされているので、かなりの高齢です。娘の五月（サツキ）は、安心院の5頭目の子どもで、9歳になり只今お婿さん募集中です。

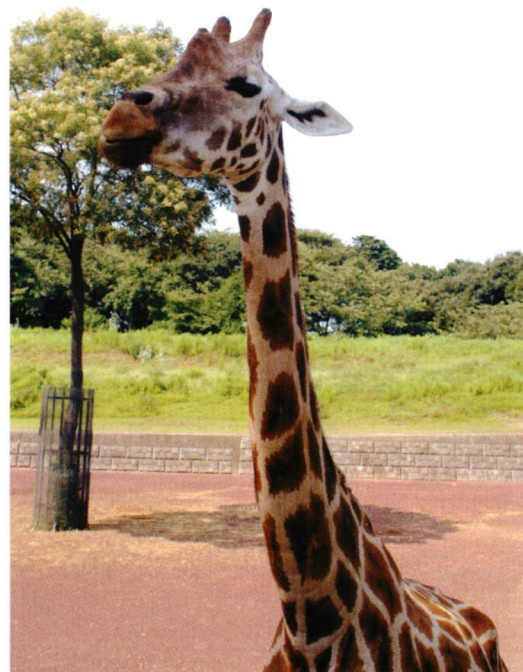
さて、キリンの特徴といえば何といっても長い首でしょう。長い首を使って他の有蹄類が届かない、はるか高いところにあるアカシア等の木の葉を食べることにより適応を広げ、サバンナに広く分布する繁栄をもたらしました。

キリンのこの長い首はどのように進化したのかは、化石等が少なくはっきりわかりません。そこで、次のようなおもしろい説があります。

「キリンの祖先は、ウマ程度の首の長さで、高いところの木の葉を食べる習性もなかった。ある日、首の細胞に進入するウィルスで成長因子のDNAに作用する病気が流行し、感染した様々な動物は首が長くなった。ところが、この病気で長い首になった大多数の動物では脳に血液を送れなかったり、送れても水を飲もうとして首を下ろしたときなどに、脳に血液が集まったりしすぎて、脳溢血になってしまいうダメージを受け全滅したが、キリンの先祖は、後頭部に網目状の毛細血管が張り巡らされていて、急激な血圧の変化を吸収する「ワンダーネット」を備えていたため、生き残ったのでは……。」

今度動物園に来たら、そんなことを想像しながらキリンをあらためて見ると、おもしろいかもしれません。

佐藤 幹雄 (Mikio Satoh)





動物公園日誌から

From Zoological Park Diary

’07年4月1日～’07年6月30日

4月1日 予備室のプレーリードッグ、出産した雌の巣で小さな声を確認
4月4日 レッサーパンダ、体重測定（風太：6.6kg、チチィ：測定できず、ユウタ：6.3kg、風花：6.5kg）
アメリカビーバー、夜よりペアリングするが近寄らない 雌は外で泳ぐが、寝室に戻れない様子なので捕獲し戻す
ヘビクイワシ、本日より抱卵を開始する
4月7日 カリフォルニアアシカ（仔）、コイ4匹のみ食べる アジは食さず
4月12日 ナベコウ（2羽）、検疫明け、フラミンゴ池に放飼
ホンヅル（雌、ノビル）、発情兆候
4月15日 フンボルトペンギン、産卵
ワンポイントウォッチング開催（グレイシマウマ）
4月16日 フラミンゴ、ナベコウが陸地にいるため池の中にいる
4月17日 アカハナグマ（雌）、死亡
ハワイガン（雛5羽）、リング装着
シチメンチョウ（雌）、放飼場の茂みで営巣
4月22日 カリフォルニアアシカ（仔）、コイは食べる アジは咬んだあとがあった
紙芝居会開催
4月23日 レッサーパンダ、体重測定（風太：6.6kg、チチィ：測定できず、ユウタ：6.2kg、風花：6.3kg）
カリフォルニアアシカ（仔）、体重測定（26.8kg）
4月24日 エリマキキツネザル、午後1時頃かなり長い間鳴いていた
4月26日 カリフォルニアアシカ（仔）、アジを夕方1匹食べる
4月28日 カリフォルニアアシカ（仔）、朝アジを与えるときくわえて遊びだし、夕方までには全て食す
4月29日 ホンヅル（1頭）、繁殖 母親はNo.98（ノギク）
花苗プレゼント実施
4月30日 ホンヅル（1頭）、繁殖 母親はNo.107（ニンニク）
5月7日 フサオマキザル、マイクロチップ埋め込み
5月8日 カンムリシャコ（2羽）、上野動物園より新着
カリフォルニアアシカ（仔）、体重測定（31.7kg）
5月10日 クロミミマーモセット、2頭繁殖するが1頭は死亡
5月12日 パードウィーク講演会開催
5月13日 ワンポイントウォッチング開催（キンカジュ）
5月14日 シタツunga（雄）、雌を追尾する
レッサーパンダ、体重測定用のお立ち台を設置
5月15日 チンパンジー、白樫の木を大量に入れる 食べたり巣に使ったりする
ミーアキャット（雌、ミルミル）腹部ふくらみが目立つ（妊娠）
5月16日 ヘビクイワシ（1羽）、孵化
タンチョウ、産卵（1卵）
5月19日 コツメカワウソ（雌）、死亡
タンチョウ、産卵（2卵目）
5月20日 キンカジュ、交尾確認
5月22日 カリフォルニアアシカ（仔）、体重測定（35.8kg）
5月23日 レッサーパンダ、体重測定（風太：7kg、チチィ：7.2kg）
5月24日 トナカイ（雌）、死亡
5月26日 ファミリーシアター開催
5月27日 ゆかいな森の音楽会開催
5月29日 カリフォルニアアシカ（仔）、体重測定（36.1kg）
5月31日 カオムラサキラングール（雌）、左手が痛そうでまったく使わない
6月2日 レッサーパンダ、誕生会実施
6月3日 ヒツジの毛刈り教室開催
6月4日 カオムラサキラングール（雌）、左手診察のため捕獲 左手橈骨骨折のため入院
6月5日 コンゴコロブス、朝、室内でよく鳴く
6月10日 マンドリル（雄）、室内排便無く、餌もほとんど食べず元気ない
6月11日 マンドリル（雄）、入院
フンボルトペンギン、体重測定（No.51：3.4kg、No.53：3.1kg）
ミーアキャット、朝雄が顔を出しただけで、それ以降は3頭とも顔を出さず 出産の可能性
6月14日



レッサーパンダの誕生会



ヒツジの毛刈り教室



ミーアキャット

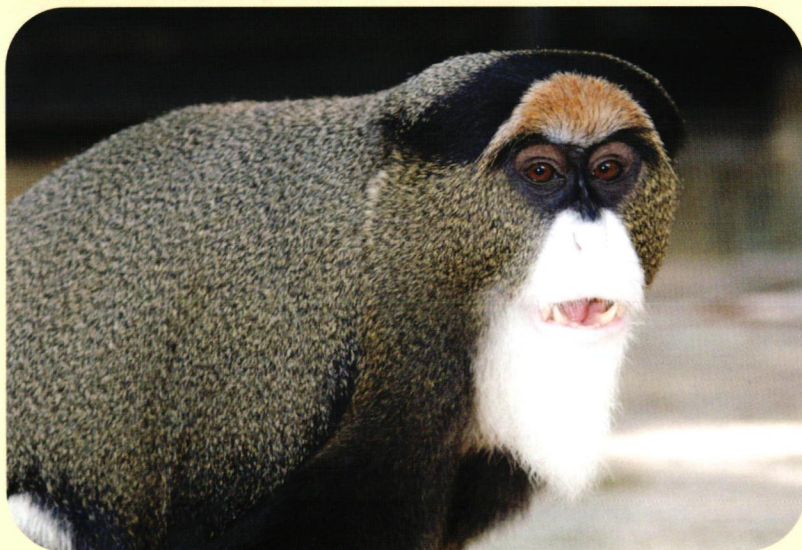
6月14日 レッサーパンダ（雌、チチィ）、妊娠の可能性のため部屋を隣に移動し、巣箱にワラを入れる
6月16日 Zooキッズデー開催
6月17日 ミーアキャット（雌、ミルミル）、朝から昼にかけて出ていた腹がへこんでいたので出産した様子
紙芝居会開催
6月18日 マンドリル（雄）、退院
ロバ（雌1頭）、川崎市夢見が崎動物園へ搬出
フサホロホロチョウ（雄1、雌1）、川崎市夢見が崎動物園より搬入
6月19日 ニシローランドゴリラ（雌、モモコ）、体重測定（126kg）
6月22日 幕張総合高等学校（5名）、職場体験実施（23日まで）
木更津高等学校（学生9名、教員3名）、校外学習実施
6月24日 ワンポイントウォッチング開催（フタコブラクダ）
6月26日 ニシローランドゴリラ（雄、モモタロウ）、体重測定（79kg）
レッサーパンダ、体重測定（風太：6.8kg、チチィ：7.83kg、ユウタ：6.65kg、風花：6.45kg）
千城台南中学校（8名）、職場体験実施（27日まで）
6月28日 カオムラサキラングール（雌）、退院 両親と一緒にするが、特にトラブル無し

浅野 洋之（Hiroyuki Asano）

編集後記

今年の夏は、各地で最高気温の日が観測され、千葉でも同様で園内の動物たちもいつもより動きが鈍かったようです。暑い中來園下さった方には、オリジナルうちわ作りや動物科学館館内のミニクイズで暑さをしのいでいた方が多く見られました。まもなく、当園の人気ものレッサーパンダの今年誕生の2匹が、新たにご来園の皆様をお迎えします。どうぞ秋風の中の園内散策をお楽しみ下さい。

どうぶつこうえんニュース編集委員



ブラッザゲノン



サポーター会員募集

(財)千葉市動物公園協会では、動物に関する知識と動物愛護の精神を普及することを目的に「サポーター会員」を募集いたします。

年会費(4月～翌年3月) 個人会員 **1,000円**(1口)

法人会員 **10,000円**(1口)

オリジナルグッズプレゼント♪ サポーターズデイに無料ご招待!

お問い合わせは ☎**043-252-1111**



Information

平成19年9月・10月・11月の 催し物一覧

- ★ 9月9日(日) ワンポイントウォッチング(オジロワシ)
- ★ 9月23日(日) 折り紙教室
- ★ 9月30日(日) ワンポイントウォッチング(リクガメ)
- ★ 10月7日(日) 写真教室
- ★ 10月14日(日) ワンポイントウォッチング(モウコノウマ)
- ★ 10月20日(土) 紙芝居会
- ★ 11月11日(日) ワンポイントウォッチング(ナベコウ)
- ★ 11月23日(金) Zooクイズラリー

どうぶつこうえんニュース第65号
平成19年9月1日発行

編集
発行

千葉市動物公園・(財)千葉市動物公園協会 [総合案内] ☎043-252-1111
〒264-0037 千葉市若葉区源町280番地 280 Minamoto-cho Wakabaku Chiba-City Japan.
<http://www.city.chiba.jp/zoo/>